

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590017001	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (L1~L6_F3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	L1~6 F1~3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatusu mrd.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語で、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードを授業に盛り込む。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず、滑らかに発話すること。		
授業方法 (学習指導法) /Method	ドイツ語の学習で不可欠な動詞の人称変化を学生全員が慣れるまで「私は長崎へ行きます」や「私は長崎に住んでいます」などのドイツ語文を使い、主語を一人称、二人称、三人称そしてその単数と複数に換えて練習します。習熟度を見るために、二人一組で「あなたはどこへ行きますか」「私は長崎へ行きます」などの会話ゲームをします。これによって全員が難なく自然に発話できるようになります。 次に名詞の性と定冠詞・不定冠詞などの1格から4格の格変化に慣れるために、男性名詞の「父は息子に叔父の万年筆をプレゼントします」、女性名詞の「母は娘に叔母のハンドバックをプレゼントします」、中性名詞の「少女は子供に童話のおもちゃをプレゼントします」の各文を発音します。習熟度を見るために「誰が息子に叔父の万年筆をプレゼントしますか」の質問に「父が息子に叔父の万年筆をプレゼントします」あるいは「父がそれを彼にプレゼントします」で答えるゲームをします。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『気分はドイツ』(Deutsch macht Spa?!) 著者: 本郷健治 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テストと定期試験で70%(小テスト50%、定期試験50%)そして統一試験30%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ビデオでドイツの若者達を紹介。ドイツ語のアルファベットの練習。ドイツ語で自己紹介。		
第2回	動詞の現在人称変化(1) sein, habenの現在人称変化、定形の位置。		
第3回	名詞の性。性に応じた冠詞の格の用法。		

第4回	複数形の定冠詞の格変化、男性弱変化名詞。
第5回	動詞の現在人称変化（2） 特に注意すべき動詞。
第6回	人称代名詞の3格、4格の用法。
第7回	定冠詞類、不定冠詞類、疑問詞の1格から4格までの用法。
第8回	定形の位置。並列の接続詞。
第9回	従属の接続詞。主文と副文。
第10回	2格・3格・4格と結びつく前置詞。
第11回	3格または4格と結びつく前置詞。特定の前置詞と結びつく動詞。
第12回	話法の助動詞の人称変化と用法。
第13回	副文中の話法の助動詞。
第14回	動詞の3基本形。
第15回	過去形で日記を書く。
第16回	総復習。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590017002	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (P1・P2_F1・F2) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	P 1・2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-nakai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館5 2 4 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	授業のねらい: ドイツ語の初級文法を現在時制 (+ 未来形) の範囲内で学び、応用できるようにする。簡単な挨拶、数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な会話もできるようにする。		
授業到達目標/Goal	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をやる。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。		
授業内容/Class outline/Con	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をやる。第2回目までは特に予習の必要はないが、未知の単語の意味をしらべておくこと。第3回以降から練習問題などの予習も必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけるのではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	小島/仲井『やあ、みんな!』同学社 (なお初回時に辞書の説明をするので、それまで辞書は買わないでください。例年こちらが勧める以外の辞書を買って、後で困る人が出ています。参考書も特に買う必要はありません。)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8~1.2=成績)従って授業をおろそかにする人は、試験の合計が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してきてください。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	辞書の説明、発音		
第2回	発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞		
第3回	定冠詞、不定冠詞、格の用法		
第4回	不規則動詞、命令形		
第5回	定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞		
第6回	名詞の複数形		

第7回	nichtとkein、目的語の語順
第8回	前置詞
第9回	形容詞と形容詞の名詞化
第10回	話法の助動詞、未来形
第11回	序数と日付の表現
第12回	分離動詞、非分離動詞
第13回	従属接続詞と並列接続詞
第14回	間接疑問文
第15回	ランデスクンデ
第16回	まとめと定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590017003	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (E1 ~ E6) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ssakamoto tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標 / Goal	100程度の語数からなる自己紹介・人物紹介ができる		
授業方法 (学習指導法) / Method	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容 / Class outline / Con	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	新倉真矢子 (他著) 『ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語 ノイ』 第三書房 ISBN978-4-8086-1190-3 独和辞典については講義中に指示 (自分の判断で買わないこと)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	宿題 (20%) 講義中の取り組み方 (10%) 定期試験 (個別) (40%) 統一試験 (30%) 統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	教科書に付属している別冊問題集から宿題を出します。毎回の宿題の正答率を全体成績の20%とします。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語のあいさつ、アルファベット 【人と挨拶ができる】		
第2回	一人称と二人称の動詞の人称変化 【専攻や職業・国籍が言える、出身地・居住地を尋ね、答えることができる】		
第3回	三人称の動詞の人称変化 【人の出身地・居住地・職業・国籍などについて説明できる、短いテキストを読む】		
第4回	復習 (現在人称変化)		
第5回	名詞の性、発音の規則 【身の回りの物の名前を正しい発音で挙げるができる】		

第6回	名詞の性、不定冠詞・否定冠詞の1格、複数形、1～10までの数字 【身の回りの物について説明できる】
第7回	名詞の性、定冠詞の1格、人称代名詞の1格、形容詞（述語的用法） 【身の回りの物について説明できる】
第8回	復習（冠詞の変化）、2・3・4格の冠詞、人称代名詞の1～4格
第9回	不規則変化動詞の人称変化
第10回	会話練習（ロールプレイ） 【レストランで注文ができる】
第11回	文法補足（動詞の位置、疑問詞、Ja, Nein, dochの使い方）、11から100までの数字
第12回	所有冠詞 【家族の紹介ができる、家族について話すことができる】
第13回	原形不定詞を使う表現 【自分の趣味や余暇活動が表現できる】
第14回	人物を紹介するテキストを読む、自己紹介の文章を書く、クラスメートについての紹介文を書く
第15回	まとめ（統一試験の準備）
第16回	試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590017004	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (D1・D2_K1~K3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	D1・2_K1~3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。またはEメール宛にて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の初級文法を身につけ、単純な表現であれば理解し、自分でも表現できるようになることが第一のねらいです。 さらに、言語学習を単なる試験科目としてではなく、異文化との関わりや他者理解 (あるいは自己理解) についての基本的視座を形成するための有力な手段と捉え、積極的に取り組めるようになってもらいたいと考えてます。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語文法の基本的かつ重要な基礎を身に付ける。課外の自習や今後勉強を続ける場合に自分で調べ、考えることができるようになるための下地を作る。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業中は文法の説明、解説が中心になります。 練習問題は教科書のものでありますが、文法事項を確認するための書き込み式プリントを別途配布する予定です。 ファイルやバインダー等を準備し、プリントをなくさないようにしてください。 また、途中から統一試験対策の単語テストも実施します。 気を抜かず自宅学習に取り組んでください。 既習事項の復習や問題の答え合わせにおいて、学生を指名して質問に答えてもらうことがありますが、難しかったり分からなかったりするのならばヒントを出して誘導します。遠慮せず意思表示してください。 学びの途中で分からないことや間違いがあるのは当然で、恥ずかしいことはありません。 失敗を恐れず積極的に授業に参加してください。		
授業内容/Class outline/Con	基本的には教科書の順番に沿って進みますが、授業計画あくまでも予定です。 クラスの雰囲気、みなさんの理解度に応じて授業の進度は変わります。 最初の数回は指定の教科書に載っていないあいさつ表現、辞書の見方、統一試験用の単語リストの見方等の説明にも時間を使います。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	森公成、渡辺広佐『クヴェレ・ドイツ文法』(同学社)。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験3割・定期テスト7割で評価します。 定期テストの7割分に関しては、授業への取り組みや指定を守っているか(提出物等)によって加減します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を持参してください。 (第1回目の授業時はまだ用意してなくて大丈夫です。)		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。 授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の説明、ドイツ語のアルファベット、あいさつ
第2回	発音
第3回	発音続き、第1課(主語になる人称代名詞等)
第4回	第1課続き(動詞の現在人称変化等)
第5回	第1課続き(sein, haben, werden等)
第6回	第2課(名詞の性、定冠詞、名詞の格等)
第7回	第2課続き(不定冠詞等)
第8回	第3課(複数形、男性弱変化名詞等)
第9回	第4課(動詞の現在人称変化2等)
第10回	第4課続き(命令等)
第11回	第5課(冠詞類等)
第12回	第5課続き(人称代名詞等)
第13回	第6課(前置詞等)
第14回	第6課続き(従属接続詞、副文等)
第15回	前期復習、確認
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590017005	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (M4~M6) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Object Student	M4 ~ M6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスより) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。 あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 		
授業方法(学習指導法) / Method	<ul style="list-style-type: none"> ・文法解説、音読、練習問題の実践ならびに会話練習を行います。 ・適宜ペアワークを行います。ほかの学生の前での音読等にも挑戦してもらいます。 ・小テストを行い、既習の文法事項や語彙が理解できているか確認します。 ・折に触れて統一試験対策の単語テストも実施します。 ・教科書の補足のためプリントを配布する場合がありますので、バインダー等を利用し、配布されたものはすべて毎回授業に持ってくるようにしてください。 		
授業内容 / Class outline / Con	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は15課から構成されており、前期は8課まで進みます。 ・教科書に沿って進めていきますが、進度や理解の状況によって内容を変更する場合があります。 ・第16回目に学期末定期試験を行います。 		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。 (事後学習) 基本的に毎回小テストを行う予定です。その前の回の授業内容を問うものになりますので、しっかりと復習を行ってください。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	上野成利(他)『パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール改訂版』白水社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テスト15% 授業への参加姿勢(積極性、出席状況等)15% 定期試験40% 統一試験30% *統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
受講要件(履修条件) / Requirements	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。 		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	Lektion 0. 発音 Lektion 1. 動詞の現在人称変化(1)		
2回	Lektion 1. 動詞の現在人称変化(2)		

3回	Lektion 2. 名詞の性 / 冠詞の格変化(1)
4回	Lektion 2. 名詞の性 / 冠詞の格変化(2)
5回	Lektion 3. 不規則変化動詞 / 命令形(1)
6回	Lektion 3. 不規則変化動詞 / 命令形(2)
7回	Lektion 4. 定冠詞類・不定冠詞類
8回	Lektion 5. 複数形 / 人称代名詞
9回	Lektion 6. 前置詞の格支配(1)
10回	Lektion 6. 前置詞の格支配(2)
11回	Lektion 7. 形容詞の格変化
12回	Lektion 8. 話法の助動詞 / 未来形(1)
13回	Lektion 8. 話法の助動詞 / 未来形(2)
14回	文法補足ならびに統一試験の準備(1)
15回	文法補足ならびに統一試験の準備(2)
16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590017006	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (T1~T5) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	1 ~ T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み及び授業前後(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語Iで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、「基本文法確認レポート」を各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容/Class outline/Con	「授業計画詳細情報」を参照。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	次回の授業で取り扱うドイツ語表現の意味を調べ、覚えておくこと。 今回の授業で学んだ項目を含む「基本文法確認レポート」を次回までに完成しておくこと。 次回の小テストの試験範囲の内容を復習しておくこと。		
キーワード/Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 荻原・山崎 プロムナード やさしいドイツ語文法 白水社 (辞書は当面不要)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(30%)、定期試験(30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語のアルファベットと基本的なあいさつ		
第2回	ドイツ語の発音 発音の3大原則・注意が必要な母音と子音		
第3回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(1) 人称代名詞(1格)・動詞の人称変化		
第4回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(2) seinとhaben・ドイツ語の語順・おもな疑問詞		
第5回	名詞の性と格(1) 名詞の性・名詞の格		
第6回	名詞の性と格(2) 定冠詞と不定冠詞の格変化・複数形・合成語		
第7回	定冠詞類と不定冠詞類(1) 定冠詞類の格変化・不定冠詞類の格変化		

第8回	定冠詞類と不定冠詞類（2） 所有冠詞・否定冠詞kein・否定の副詞nicht
第9回	人称代名詞（1） 人称代名詞の格変化・3人称の人称代名詞
第10回	人称代名詞（2） 3格と4格の語順・非人称のes・指示代名詞
第11回	不規則動詞（1） fahren型・sprechen型・sehen型
第12回	不規則動詞（2） その他の重要な不規則動詞
第13回	命令形（1） 命令する相手に応じた命令形の作り方
第14回	命令形（2） 命令する相手に応じた命令形の使い方
第15回	第1回～第14回で学んだ文法項目の総まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590017007	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (M1~M3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Object Student	M1~M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスより) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。 あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・文法解説、音読、練習問題の実践ならびに会話練習を行います。 ・適宜ペアワークを行います。ほかの学生の前での音読等にも挑戦してもらいます。 ・小テストを行い、既習の文法事項や語彙が理解できているか確認します。 ・折に触れて統一試験対策の単語テストも実施します。 ・教科書の補足のためプリントを配布する場合がありますので、バインダー等を利用し、配布されたものはすべて毎回授業に持ってくるようにしてください。 		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は15課から構成されており、前期は8課まで進みます。 ・教科書に沿って進めていきますが、進度や理解の状況によって内容を変更する場合があります。 ・第16回目に学期末定期試験を行います。 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。 (事後学習) 基本的に毎回小テストを行う予定です。その前の回の授業内容を問うものになりますので、しっかりと復習を行ってください。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	上野成利(他)『パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール改訂版』白水社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト15% 授業への参加姿勢(積極性、出席状況等)15% 定期試験40% 統一試験30% *統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
受講要件(履修条件)/Requirements	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。 		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Lektion 0. 発音 Lektion 1. 動詞の現在人称変化(1)		
第2回	Lektion 1. 動詞の現在人称変化(2)		
第3回	Lektion 2. 名詞の性/冠詞の格変化(1)		

第4回	Lektion 2. 名詞の性 / 冠詞の格変化(2)
第5回	Lektion 3. 不規則変化動詞 / 命令形(1)
第6回	Lektion 3. 不規則変化動詞 / 命令形(2)
第7回	Lektion 4. 定冠詞類・不定冠詞類
第8回	Lektion 5. 複数形 / 人称代名詞
第9回	Lektion 6. 前置詞の格支配(1)
第10回	Lektion 6. 前置詞の格支配(2)
第11回	Lektion 7. 形容詞の格変化
第12回	Lektion 8. 話法の助動詞 / 未来形(1)
第13回	Lektion 8. 話法の助動詞 / 未来形(2)
第14回	文法補足ならびに統一試験の準備(1)
第15回	文法補足ならびに統一試験の準備(2)
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590017008	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (T6~T10) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	T6 ~ T10		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日昼休み及び授業前後(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標 / Goal	ドイツ語Iで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、「基本文法確認レポート」を各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容 / Class outline / Con	「授業計画詳細情報」を参照。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	次回の授業で取り扱うドイツ語表現の意味を調べ、覚えておくこと。 今回の授業で学んだ項目を含む「基本文法確認レポート」を次回までに完成しておくこと。 次回の小テストの試験範囲の内容を復習しておくこと。		
キーワード / Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 新倉・亀ヶ谷 ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語 ノイ 第三書房 (辞書は当面不要)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	統一試験(30%)、定期試験(30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語のアルファベットと基本的なあいさつ		
第2回	ドイツ語の発音 発音の3大原則・注意が必要な母音と子音		
第3回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(1) 人称代名詞(1格)・動詞の人称変化		
第4回	人称代名詞と動詞の現在人称変化(2) seinとhaben・ドイツ語の語順・おもな疑問詞		
第5回	名詞の性と格(1) 名詞の性・名詞の格		
第6回	名詞の性と格(2) 定冠詞と不定冠詞の格変化・複数形・合成語		
第7回	定冠詞類と不定冠詞類(1) 定冠詞類の格変化・不定冠詞類の格変化		

第8回	定冠詞類と不定冠詞類（2） 所有冠詞・否定冠詞kein・否定の副詞nicht
第9回	人称代名詞（1） 人称代名詞の格変化・3人称の人称代名詞
第10回	人称代名詞（2） 3格と4格の語順・非人称のes・指示代名詞
第11回	不規則動詞（1） fahren型・sprechen型・sehen型
第12回	不規則動詞（2） その他の重要な不規則動詞
第13回	命令形（1） 命令する相手に応じた命令形の作り方
第14回	命令形（2） 命令する相手に応じた命令形の使い方
第15回	第1回～第14回で学んだ文法項目の総まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590017009	科目番号 / Subject code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11119_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (G1 ~ G3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟3F 33番講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部2号館 (総合教育研究棟12F)		
担当教員TEL/Tel	819-2932		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日14:30-16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Goal	ドイツ語検定5級合格		
授業方法 (学習指導法) /Method	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容/Class outline/Con	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習、事後学習は必須。詳細は講義中に指示する。		
キーワード/Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	清野智昭『ドイツ語の時間 話すための文法 web練習問題付』朝日出版社 (2016) 独和辞典については講義中に指示 (自分の判断で買わないこと)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習・復習の実行状況 (15%) 講義中の取り組み方 (15%) 定期試験1 (個別試験) (40%) 統一試験準拠試験 (30%) 統一試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。多文化社会学部の学生は「ドイツ語I」に関しては統一試験に準拠した問題で試験を行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	http://h-semi.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	各回に指示する自宅学習をきちんとこなすことが何より重要です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語・オランダ語・英語の関係 アルファベット 発音の規則		
第2回	ドイツ語のあいさつ 人称代名詞と動詞の人称変化		
第3回	格変化 (1格と4格)		
第4回	haben動詞、語順、決定疑問文		
第5回	不規則動詞		

第6回	複数形と3格
第7回	前置詞
第8回	副文
第9回	格変化(3格と4格)
第10回	再帰動詞
第11回	2格
第12回	定冠詞類
第13回	不定冠詞類
第14回	会話練習 テスト対策
第15回	まとめ テスト対策
第16回	試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590019001	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (G1 ~ G3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化] 総合教育研究棟 3F 33 番講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多文化社会学部1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部2号館 (総合教育研究棟12F)		
担当教員TEL/Tel	819-2932		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日14:30-16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標/Goal	ドイツ語検定4級合格		
授業方法 (学習指導法) /Method	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容/Class outline/Con	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	清野智昭『ドイツ語の時間 話すための文法 web練習問題付』朝日出版社 (2016) 独和辞典については講義中に指示 (自分の判断で買わないこと)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習・復習の実行状況 (15%) 講義中の取り組み方 (15%) 定期試験 (個別) (40%) 統一試験 (30%) 統一試験とは「ドイツ語II」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 希望があれば、ハード面、ソフト面で最適解を探る。		
備考 (URL) /Remarks(URL)	http://h-semi.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	各回に提示する課題にきちんと取り組むことが何より大切です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	zu不定詞		
第2回	分離動詞		
第3回	話法の助動詞		
第4回	過去形		
第5回	現在完了形		
第6回	受動態		
第7回	形容詞の格変化		

第8回	比較級と最上級
第9回	関係代名詞
第10回	命令形
第11回	接続法
第12回	補足練習1
第13回	補足練習2
第14回	補足練習3
第15回	まとめ 試験対策
第16回	試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590019002	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (L1~L6_F3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	L1~6 F1~3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yamatetsu mrd.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語で、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードを授業に盛り込む。		
授業到達目標 / Goal	ドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず、滑らかに発話すること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	ドイツ語の学習で不可欠な動詞の人称変化を学生全員が慣れるまで「私は長崎へ行きます」や「私は長崎に住んでいます」などのドイツ語文を使い、主語を一人称、二人称、三人称そしてその単数と複数に換えて練習します。習熟度を見るために、二人一組で「あなたはどこへ行きますか」「私は長崎へ行きます」などの会話ゲームをします。これによって全員が難なく自然に発話できるようになります。 次に名詞の性と定冠詞・不定冠詞などの1格から4格の格変化に慣れるために、男性名詞の「父は息子に叔父の万年筆をプレゼントします」、女性名詞の「母は娘に叔母のハンドバックをプレゼントします」、中性名詞の「少女は子供に童話のおもちゃをプレゼントします」の各文を発音します。習熟度を見るために「誰が息子に叔父の万年筆をプレゼントしますか」の質問に「父が息子に叔父の万年筆をプレゼントします」あるいは「父がそれを彼にプレゼントします」で答えるゲームをします。		
授業内容 / Class outline / Con			
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『気分はドイツ』(Deutsch macht Spa?!) 著者: 本郷健治 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テストと定期試験で70% (小テスト50%、定期試験50%)そして統一試験30%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ビデオでドイツの若者達を紹介。ドイツ語のアルファベットの練習。ドイツ語で自己紹介。		
第2回	動詞の現在人称変化(1) sein, habenの現在人称変化、定形の位置。		
第3回	名詞の性。性に応じた冠詞の格の用法。		

第4回	複数形の定冠詞の格変化、男性弱変化名詞。
第5回	動詞の現在人称変化（2） 特に注意すべき動詞。
第6回	人称代名詞の3格、4格の用法。
第7回	定冠詞類、不定冠詞類、疑問詞の1格から4格までの用法。
第8回	定形の位置。並列の接続詞。
第9回	従属の接続詞。主文と副文。
第10回	2格・3格・4格と結びつく前置詞。
第11回	3格または4格と結びつく前置詞。特定の前置詞と結びつく動詞。
第12回	話法の助動詞の人称変化と用法。
第13回	副文中の話法の助動詞。
第14回	動詞の3基本形。
第15回	過去形で日記を書く。
第16回	総復習。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590019003	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (P1・P2_F1・F2) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Object Student	P1・P2_F1・F2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ssakamoto tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	すべての時制でドイツ語の初級文法を学び、平易な文章であれば、辞書さえ使えば自分ひとりで読めるようにする。また道順の説明、序数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な表現もおぼえる。授業中の質問に対する答え、練習問題への解答は、そのつど授業への参加状況(0.8~1.2)に反映させます。		
授業到達目標/Goal	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。		
授業内容/Class outline/Con	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。練習問題などの予習が必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけるのではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	小島/仲井『やあ、みんな!』同学社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験30点、個別試験70点の筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8~1.2=成績)従って授業をおろそかにする人は、試験の合計点が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してください。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	動詞の三基本形、過去		
第2回	現在完了		
第3回	過去完了、未来完了		
第4回	再帰動詞		
第5回	zu不定詞		
第6回	esの用法		
第7回	比較		

第8回	受動態
第9回	関係代名詞
第10回	指示代名詞
第11回	不定関係代名詞、関係副詞
第12回	接続法（1）
第13回	接続法（2）
第14回	ランデスキュンデ
第15回	総復習
第16回	総復習と定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590019004	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (E1 ~ E6) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	坂本 彩希絵 / Sakie Sakamoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ssakamoto tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学代表)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業到達目標 / Goal	時事問題に関する文章の読解、ドイツ語検定4級合格		
授業方法 (学習指導法) / Method	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業内容 / Class outline / Con	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。時事問題に関する文章を読む。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	新倉真矢子 (他著) 『ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語』 第三書房 独和辞典については講義中に指示 (自分の判断で買わないこと)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	宿題 (20%) 講義中の取り組み方 (10%) 定期試験 (個別) (40%) 統一試験 (30%) (12月のドイツ語技能検定の結果に応じて加点します。) 共通試験とは「ドイツ語I」の履修者全員が受験する同一問題の試験のことです。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	教科書に付属している別冊問題集から宿題を出します。毎回の宿題の正答率を全体成績の20%とします。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツ語Iの復習、命令形 【人を何かに誘える】		
第2回	話法の助動詞 【休暇の予定が言える】		
第3回	3格を使う表現、前置詞 zu + 3格		
第4回	3格支配の前置詞 (an, bei, von...bis) 【予定について書かれたテキストが読める】		
第5回	3格支配の前置詞、3・4格支配の前置詞		
第6回	分離動詞、非分離動詞		

第7回	時間の表現、再帰表現 【自分の1日の行動が表現できる、時刻が言える】
第8回	不定詞
第9回	過去形、現在完了形
第10回	接続詞 【過去のことについて書かれたテキストが読める】
第11回	比較級・最上級、非人称表現 【天候に関する話ができる】
第12回	関係代名詞
第13回	読解 【時事問題に関するテキストが読める】
第14回	読解 【時事問題に関するテキストが読める】
第15回	まとめ（統一試験の準備）
第16回	試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590019005	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (D1・D2_K1~K3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Object Student	D1・D2_K1~K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスより) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。 あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・文法解説、音読、練習問題の実践ならびに会話練習を行います。 ・適宜ペアワークを行います。 ・小テストを行い、既習の文法事項や語彙が理解できているか確認します。 ・折に触れて統一試験対策の単語テストも実施します。 ・教科書の補足のためプリントを配布する場合がありますので、バインダー等を利用し、配布されたものはすべて毎回授業に持ってくるようにしてください。 		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に沿って進めていきますが、進度や理解の状況によって内容を変更する場合があります。 ・第16回目に学期末定期試験を行います。 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。 (事後学習) 基本的に毎回小テストを行う予定です。その前の回の授業内容を問うものになりますので、しっかりと復習を行ってください。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	森公成、渡辺広佐『クヴェレ・ドイツ文法』(同学社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト15% 授業への参加姿勢(積極性、出席状況等)15% 定期試験40% 統一試験30% *統一試験とは「ドイツ語II」の履修者全員が受験する同一問題の試験です。		
受講要件(履修条件)/Requirements	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。 		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課(話法の助動詞)		
第2回	第7課続き(未来形)		
第3回	第8課(分離動詞・非分離動詞)		
第4回	第8課続き(再帰、非人称主語es)		

第5回	第9課（形容詞の語尾）
第6回	第9課続き（形容詞の名詞化、形容詞の比較変化）
第7回	第10課（動詞の3基本形）
第8回	第10課続き（動詞の過去人称変化）
第9回	第11課（完了形）
第10回	第11課続き（完了形）
第11回	第12課（受動態）
第12回	第12課続き（zu不定詞、分詞）
第13回	第13課（指示代名詞、関係代名詞）
第14回	文法補足ならびに統一試験の準備(1)
第15回	文法補足ならびに統一試験の準備(2)
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590019006	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (M4~M6) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student	M4?6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka xqb.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問等はメールで随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 		
授業内容/Class outline/Con	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 (共通シラバス)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、発音 <ul style="list-style-type: none"> ・基数と西暦の読み方 2、初級文法 <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞(不加語的用法と述語的用法)と形容詞名詞化 ・序数と日付の表現 ・話法の助動詞 ・未来形 ・分離動詞と非分離動詞 ・動詞の三基本形 ・現在分詞と過去分詞 ・過去人称変化 ・現在完了 ・再帰代名詞と再帰動詞 ・zu不定詞 ・esの用法(自然現象、時刻の表現) ・不定代名詞man ・形容詞の原級、比較級、最上級 ・受動態と状態受動 ・関係代名詞 ・指示代名詞 3、コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、職業、国籍、専攻学問、誕生日の尋ね方、答え方 ・家族と趣味についての尋ね方と答え方 ・日付と時刻についての尋ね方と答え方 <p>前期に引き続いて、9課から15課まで進む。各課に2~3回の授業を充てる。</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール 改訂版」(CD付き) 上野成利、本田雅也 著、白水社		

成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験（30％）、定期試験（約70％）、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。
受講要件（履修条件）/Requirements	
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課、分離動詞、接続詞と副文、文法の解説と練習問題
第2回	第9課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第3回	第10課、zu不定詞、再帰代名詞、文法の解説と練習問題
第4回	第10課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第5回	第11課、動詞の3基本形、過去形、文法の解説と練習問題
第6回	第11課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第7回	第12課、現在完了形、非人称動詞、文法の解説と練習問題
第8回	第12課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第9回	第13課、受動態、比較表現、文法の解説と練習問題
第10回	第13課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第11回	第14課、関係代名詞、関係副詞、文法の解説と練習問題
第12回	第14課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第13回	第15課、接続法、文法の解説と練習
第14回	第15課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第15回	第9課から第15課までのまとめと補足
第16回	後期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590019007	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (T1 ~ T5) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1 ~ T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み及び授業前後 (教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語 で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、「基本文法確認レポート」を各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容/Class outline/Con	「授業計画詳細情報」を参照。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	次回の授業で取り扱うドイツ語表現の意味を調べ、覚えておくこと。 今回の授業で学んだ項目を含む「基本文法確認レポート」を次回までに完成しておくこと。 次回の小テストの試験範囲の内容を復習しておくこと。		
キーワード/Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 荻原・山崎 プロムナード やさしいドイツ語文法 白水社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験 (30%)、定期試験 (30%)、平常点 (40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	前置詞 (1) 3格支配の前置詞・4格支配の前置詞		
第2回	前置詞 (2) 3 + 4格支配の前置詞・前置詞と定冠詞の融合		
第3回	前置詞 (3) 前置詞と共に使われる動詞・2格支配の前置詞		
第4回	分離動詞 分離動詞と非分離動詞・枠構造		
第5回	接続詞 従属接続詞と並列接続詞・副文		
第6回	話法の助動詞 (1) 話法の助動詞の種類と用法・manの使い方		

第7回	話法の助動詞（2） 話法の助動詞の種類と用法・未来形
第8回	動詞の3基本形・過去形 過去形と過去分詞の作り方・過去形の使い方
第9回	現在完了形（1） 現在完了形の作り方・haben支配とsein支配
第10回	現在完了形（2） 現在完了形の使い方
第11回	受動文 受動態の作り方と使い方・状態受動
第12回	再帰代名詞 再帰代名詞と再帰動詞
第13回	zu不定詞 zu不定詞の語順と用法
第14回	形容詞・比較表現（1） 形容詞の3つの用法・形容詞の格変化
第15回	形容詞・比較表現（2） 比較表現（比較級と最上級）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590019008	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (M1~M3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M1?3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mksakka xqb.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー / Office hours	質問等はメールで随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	(ドイツ語共通シラバスから) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、ほぼすべての初級文法事項を理解する(接続法も含む)。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な発音で読める。 ・初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 ・簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストに従いながら、文法の解説とドイツ語文の和訳・練習問題の演習を併せて進めてゆく。 ・単語については、よく調べておかなければならない。 ・発音やドイツ語文の朗読練習もする。 ・独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。 		
授業内容 / Class outline / Con	<p>下の共通シラバスの項目を、テキストに沿いながら学習する。 (共通シラバス)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、発音 <ul style="list-style-type: none"> ・基数と西暦の読み方 2、初級文法 <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞(不加語的用法と述語的用法)と形容詞名詞化 ・序数と日付の表現 ・話法の助動詞 ・未来形 ・分離動詞と非分離動詞 ・動詞の三基本形 ・現在分詞と過去分詞 ・過去人称変化 ・現在完了 ・再帰代名詞と再帰動詞 ・zu不定詞 ・esの用法(自然現象、時刻の表現) ・不定代名詞man ・形容詞の原級、比較級、最上級 ・受動態と状態受動 ・関係代名詞 ・指示代名詞 ・接続法 3、コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、職業、国籍、専攻学問、誕生日の尋ね方、答え方 ・家族と趣味についての尋ね方と答え方 ・日付についての尋ね方と答え方 <p>前期に引き続いて、9課から15課まで。2回の授業で1課を終えるぐらいのペースで進む。</p>		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール 改訂版」(CD付き) 上野成利、本田雅也 著、白水社
成績評価の方法・基準等/Evaluation	統一試験(30%)、定期試験(約70%)、および平素の学習成績、授業への参加状況を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)/Requirements	
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第9課、分離動詞、接続詞と副文、文法の解説と練習問題
第2回	第9課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第3回	第10課、zu不定詞、再帰代名詞、文法の解説と練習問題
第4回	第10課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第5回	第11課、動詞の3基本形、過去形、文法の解説と練習問題
第6回	第11課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第7回	第12課、現在完了形、非人称動詞、文法の解説と練習問題
第8回	第12課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第9回	第13課、受動態、比較表現、文法の解説と練習問題
第10回	第13課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第11回	第14課、関係代名詞、関係副詞、文法の解説と練習問題
第12回	第14課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第13回	第15課、接続法、文法の解説と練習
第14回	第15課の続き、文法の解説と練習問題、Dialogの音読と和訳
第15回	第9課から第15課までのまとめと補足
第16回	後期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590019009	科目番号 / Subject code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11219_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (T6~T10) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	T6 ~ T10		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2077/2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日昼休み及び授業前後(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標 / Goal	ドイツ語で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、「基本文法確認レポート」を各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業内容 / Class outline / Con	「授業計画詳細情報」を参照。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	次回の授業で取り扱うドイツ語表現の意味を調べ、覚えておくこと。 今回の授業で学んだ項目を含む「基本文法確認レポート」を次回までに完成しておくこと。 次回の小テストの試験範囲の内容を復習しておくこと。		
キーワード / Key word	文法説明 表現練習 対話形式		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 新倉・亀ヶ谷 ゲナウ! コミュニケーションのドイツ語 ノイ 第三書房		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	統一試験(30%)、定期試験(30%)、平常点(40%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、自発的な学習の結果から算定する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	前置詞(1) 3格支配の前置詞・4格支配の前置詞		
第2回	前置詞(2) 3+4格支配の前置詞・前置詞と定冠詞の融合		
第3回	前置詞(3) 前置詞と共に使われる動詞・2格支配の前置詞		
第4回	分離動詞 分離動詞と非分離動詞・枠構造		
第5回	接続詞 従属接続詞と並列接続詞・副文		
第6回	話法の助動詞(1) 話法の助動詞の種類と用法・manの使い方		
第7回	話法の助動詞(2) 話法の助動詞の種類と用法・未来形		

第8回	動詞の3基本形・過去形 過去形と過去分詞の作り方・過去形の使い方
第9回	現在完了形(1) 現在完了形の作り方・haben支配とsein支配
第10回	現在完了形(2) 現在完了形の使い方
第11回	受動文 受動態の作り方と使い方・状態受動
第12回	再帰代名詞 再帰代名詞と再帰動詞
第13回	zu不定詞 zu不定詞の語順と用法
第14回	形容詞・比較表現(1) 形容詞の3つの用法・形容詞の格変化
第15回	形容詞・比較表現(2) 比較表現(比較級と最上級)
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590021001	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2T1~2T5) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T1~2T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu mrd.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	1校時、2校時後の休み時間、及び昼休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業到達目標/Goal	この授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツ旅行の際に、言葉に不自由しないこと。		
授業方法 (学習指導法) /Method	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『スツェーネン 2』 場面学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト (50%)、定期試験 (50%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	映像で同世代のドイツの若者達の生活を見る。ドイツ語で自己紹介。		
第2回	自分の1日の生活をドイツ語で表現する。		
第3回	列車の旅。時刻表の見方。		
第4回	レストランで注文する。		
第5回	食事代を支払う。		
第6回	2回から5回までの復習		
第7回	郵便局はどこにありますか。		
第8回	この近くにスーパーはありますか。		
第9回	日本への手紙はいくらですか。		
第10回	そちらの天気はどうか。		
第11回	7回から10回までの復習		

第12回	誕生日に何をプレゼントしますか。
第13回	カメラ店で。
第14回	ドイツの祝日。
第15回	1 2 回から 1 4 回までの復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590021002	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2M1 ~ 2M3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2M		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yamatetsu mrd.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ドイツの文化・習慣・環境問題などをドイツ語会話を通して理解する。		
授業到達目標 / Goal	1年で習得したドイツ語文法に基づき、日常の場面に応じた会話を自らのドイツ語で表現すること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	二人一組にして、会話練習を重ね、音に慣れて、自然に発話できるようにします。		
授業内容 / Class outline / Con			
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につきます。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『スウェーデン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テスト (50%)、定期試験 (50%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツの映像を見ます。ドイツ語文法の簡単な復習。自己紹介とその質疑応答。		
第2回	旅行と交通。列車時刻表の見方。		
第3回	列車の発車・到着時刻を尋ねる。		
第4回	駅で切符を買う。		
第5回	レストランで食事を注文する。		
第6回	日本と違うレストランでの支払。		
第7回	ホテルを探す、予約する。		
第8回	街中で道を尋ねる。		
第9回	ユーロに両替をする。日本への切手を買う。		
第10回	ヨーロッパの天気について話す。		
第11回	週末に何をしたかを尋ねる。		

第12回	病状の表現。
第13回	薬局で薬を買う。
第14回	会社に病気で出勤できないと伝える。
第15回	いつ誰に何をプレゼントするかを話す。
第16回	プレゼントを買う。総復習。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590021003	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2T6~2T10) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T6 ~ 2T10		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tataguchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・初年次に学んだドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。 ・特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。 		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方にも習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 ・基本的には教科書に沿って進めてゆすが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 ・授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。 		
授業内容 / Class outline / Con	<ul style="list-style-type: none"> ・初回より教科書を用いて授業する。 ・小テストと中間試験を行う。小テストと中間試験は授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書等の指示された範囲を辞書を駆使して予習してくる。また付属CDを聞き、朗読の練習をする。 ・指示された宿題を次週までに済ませる。 		
キーワード / Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	清野智昭 『ドイツ語の時間 ビデオ教材 恋するベルリン Web改訂版エピソード付』 2017年、朝日出版社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	平素の学習 (宿題、授業への積極的参加、小テスト、中間試験など) 50%、定期試験 (筆記試験、聞き取り試験) 50%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 ・独和辞書 (電子辞書も可) を準備し、毎回持参すること。 ・積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 ・授業中の携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。 ・許可を得ずに途中退席してはならない。 		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	授業オリエンテーション 発音規則の復習 (S.3-5) Lektion 1: Ankunft in Berlin (S.6-9) シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション
第2回	小テスト Lektion 2: Beim Bäcker (S.10-13) シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション
第3回	小テスト Lektion 3: Sprachkurs (S.14-15) シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション
第4回	Lektion 3: Sprachkurs (S.16-17) ディクテーション、問題演習、ディクテーション、読解
第5回	小テスト Lektion 4: In der Mensa (S.18-19) シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション
第6回	Lektion 4: In der Mensa (S.20-21) ディクテーション、問題演習、ディクテーション、読解
第7回	中間テスト
第8回	Lektion 5: Beim Arzt (S.22-23) シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション
第9回	Lektion 5: Beim Arzt (S.24-25) ディクテーション、問題演習、ディクテーション、読解
第10回	小テスト Lektion 6: Beim Studentenwohnheim (S.26-27) シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション
第11回	Lektion 6: Beim Studentenwohnheim (S.26-27) シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション
第12回	Lektion 6: Beim Studentenwohnheim (S.28-29) ディクテーション、問題演習、ディクテーション、読解
第13回	小テスト Lektion 7: Zum Wannsee (S.30-31) シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション
第14回	Lektion 7: Zum Wannsee (S.30-31) シャドーイング、ロールプレイ、文法、ディクテーション
第15回	Lektion 7: Zum Wannsee (S.32-33) ディクテーション、問題演習、ディクテーション、読解
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/18		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590021004	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2D1・2D2_2K1~2K3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Object Student	2D1・2D2_2K1~2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tataguchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・初年次に学んだドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。 ・特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。 		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 ・基本的には教科書に沿って進めてゆすが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 ・授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。 		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> ・初回より教科書を用いて授業する。 ・小テストと中間試験を行う。小テストと中間試験は授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書等の指示された範囲を辞書を駆使して予習してくる。また付属CDを聞き、朗読の練習をする。 ・指示された宿題を次週までに済ませる。 		
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	飯田道子、江口直光『アプファールト ノイ スキットで学ぶドイツ語』2015年、三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習(宿題、授業への積極的参加、小テスト、中間試験など)50%、定期試験(筆記試験、聞き取り試験)50%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 ・独和辞書(電子辞書も可)を準備し、毎回持参すること。 ・積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 ・授業中の携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。 ・許可を得ずに途中退出してはならない。 		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業オリエンテーション Lektion 1: Freut mich! (S.4-9) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解		

第2回	小テスト Lektion 2: Hast du morgen Abend Zeit? (S.10-13) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第3回	Lektion 2: Hast du morgen Abend Zeit? (S.13-15) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第4回	小テスト Lektion 3: Was ist das? Was hast du? (S.16-19) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第5回	Lektion 3: Was ist das? Was hast du? (S.20-23) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第6回	小テスト Lektion 4: Ich möchte eine Halskette. (S.24-26) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第7回	Lektion 4: Ich möchte eine Halskette. (S.27-29) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第8回	前半の振り返り 中間試験
第9回	Lektion 5: Hast du am Wochenende etwas vor? (S.30-31) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第10回	Lektion 5: Hast du am Wochenende etwas vor? (S.32-35) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第11回	Lektion 6: Was hast du in den Sommerferien gemacht? (S.36-37) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第12回	Lektion 6: Was hast du in den Sommerferien gemacht? (S.36-37) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第13回	Lektion 6: Was hast du in den Sommerferien gemacht? (S.38) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第14回	Lektion 6: Was hast du in den Sommerferien gemacht? (S.39-41) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第15回	後半の振り返り
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590021005	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2E1 ~ 2E6) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	清原 明代 / Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2E1 ~ 8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間。または上記Eメール宛にて。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	作文練習問題を通しての語彙や語感の定着を目指す、またドイツ語のみならず日本語や英語との比較も通じて各言語の特徴や発想方法の違い等についての関心や理解を育てる。		
授業到達目標/Goal	まだ理解していない文法事項を確認し問題を解消すること、シンプルな文を暗記して、ドイツ語の語順や発想になれること。		
授業方法 (学習指導法) /Method	教科書に沿って、作文の練習問題に取り組みます。解答・解説の際に文法や語彙についての復習や補足を行います。		
授業内容/Class outline/Con	教科書の例文や練習問題の中から数点をピックアップし、文法や語彙の復習・解説を行います。既習事項を確認する際は任意の学生を指名し、質問に答えてもらう場合があります。また、毎回の授業の最初にも学生を指名し、前回扱った問題の解答を板書してもらい、復習します。 分からないところや難しいことがあるのならばヒントを出して誘導しますので、遠慮せず意思表示をしてください。 間違いや知らないことがあるのは当たり前で、恥ずかしいことはありません。 失敗をおそれず積極的に授業に参加してください。 基本的には教科書に沿って進みますが、扱う章や順番は変更する場合があります。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	大岩信太郎『Deutsche Satz?bungen f?r Anf?nger (はじめての独作文)』(朝日出版社)。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	基本的に定期テストの点数で評価します。しかし授業への取り組み方を見て評点を多少加減する場合がありますので注意してください。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特にありませんが、紙媒体・電子は問いませんので独和辞典を毎回持参してください。(定期試験では辞書の持込を許可します。普段から辞書を使うことに慣れておいてください。)		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	上にも書いていますが、間違いや失敗は恐らなくて大丈夫です。授業内容に関する直接の質問のほかにも、不安なことがあれば抱え込まずに相談してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の説明、名詞の性と数		
第2回	動詞の現在形(1)		
第3回	定冠詞と名詞の格変化 (定冠詞類)		
第4回	定動詞の位置(1)		

第5回	動詞の現在形(2)
第6回	動詞の現在形(3)
第7回	定動詞の位置(2)
第8回	不定冠詞と不定冠詞類(名詞の複数形)
第9回	疑問代名詞
第10回	人称代名詞
第11回	前置詞(1)
第12回	前置詞(2)
第13回	前置詞(3)
第14回	分離動詞
第15回	過去形
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590021006	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2G1~2G3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	2G1-2G3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2077 / 2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日昼休み及び授業前後(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識及び理解を深めていきます。		
授業到達目標 / Goal	ドイツ語 までに学んだ初級文法の知識を活用し、辞書をたくさん引いて、ドイツ語のテキストを読みながら文法・語法・表現などを総合的に中級レベルに近づけることを目指します。		
授業方法(学習指導法) / Method	教科書に含まれるドイツ語テキストを、あらかじめ学生ができる限り自力で読み、内容を把握しておくことが前提です。その発表に対し教員が文法や語法について質問をしたり、説明を加えたりします。また、配布された練習問題に取り組むことで、基本的な文法力・語法力を身につけます。		
授業内容 / Class outline / Con	「授業計画詳細情報」を参照。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	「授業方法(学習指導法)」を参照。さらに、初級文法の習得が不十分と思われる人には個別に自習用課題を提出してもらいます。		
キーワード / Key word	読解力錬成 基礎的文法力・語法力の錬成		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: U・シュミット M・D・タカヤマ ミツ石・和泉 ファウストとメフィストと学ぶ ドイツ文化 8章 プラス・エクストラ 三修社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表、課題の提出及び小テストの結果(50%)で評価します。		
受講要件(履修条件) / Requirements	再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第0章 「ハロー！」 語順のごく一般的な原則		
第2回	第1章 「ドイツの地誌」 Lesetext 1 Reiseattraktionen in Deutschland (1) 3・4格支配の前置詞		
第3回	第1章 「ドイツの地誌」 Lesetext 1 Reiseattraktionen in Deutschland (2) Zahlen / 冠詞を伴う国名		

第4回	第1章 「ドイツの地誌」 Lesetext 2 Deutschland in Zahlen (1) nach と zu 「～へ」 / 比較表現の基本
第5回	第1章 「ドイツの地誌」 Lesetext 2 Deutschland in Zahlen (2) 語尾による名詞の性の見分け方
第6回	第2章 「旅行」 Lesetext 1 Reisen mit der Bahn (1) 接続法1式 / als の用法6種 / laut と lauter / bei / immer
第7回	第2章 「旅行」 Lesetext 1 Reisen mit der Bahn (2) 動詞の非分離前綴と分離・非分離前綴と分離前綴
第8回	第2章 「旅行」 Lesetext 2 Mit dem Fahrrad unterwegs (1) 不定関係代名詞としての wer と was
第9回	第2章 「旅行」 Lesetext 2 Mit dem Fahrrad unterwegs (2) 関係副詞 wo の基礎
第10回	第3章 「グリム昔話」 Lesetext 1 M?rchen ?ber M?rchen (1) 話法の助動詞と lassen
第11回	第3章 「グリム昔話」 Lesetext 1 M?rchen ?ber M?rchen (2) 過去完了 / 過去形の作り方
第12回	第3章 「グリム昔話」 Lesetext 2 Wer bin ich? (1) 従属接続詞と対等（並列）接続詞 / 連続する付加語的形容詞
第13回	第3章 「グリム昔話」 Lesetext 2 Wer bin ich? (2) zu + 所有形容詞 + 感情の名詞 / "weise"
第14回	第4章 「ウィーン」 Lesetext 1 Blog aus Wien (1) 仮主語 es の用法4種
第15回	第4章 「ウィーン」 Lesetext 1 Blog aus Wien (2) 現在完了
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590021007	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2L1~2L3_2F1~2F3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L1~2L3_2F1~2F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツ語I・IIで学んだ知識を定着させ、より発展的な内容の作文、読解、聞き取り、発話の力を付ける。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学んだ文法・語彙などを定着させる。 ・上記に加えて発展的な文法事項・語彙を学び、より豊かで自然な表現方法を身につける。 ・徹底した音読、会話練習、暗唱を通じて正しい発音を学ぶ。 ・ドイツの民間伝承を通してその文化を深く知る。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・学習事項の定着をはかるため、小テストを行います(毎回の予定)。 ・教科書の補足のためプリントを配布する場合がありますので、バインダー等を利用し、配布されたものはすべて毎回授業に持ってくるようにしてください。 ・発音練習のためにペアワークを適宜行います。 ・復習を目的とした課題(暗唱など)に取り組んでもらう予定です。 		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に教科書に沿って進めていきますが、進度や理解の状況によって内容を変更する場合があります。 ・第16回目に学期末定期試験を行います。 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておいて下さい。また発音練習に挑戦しましょう。</p> <p>(事後学習) 小テストは既習の授業内容を問うものになりますので、しっかりと復習を行ってください。</p>		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	荻野蔵平(他)『ドイツこころのふるさと ビデオで学ぶメルヘンと伝説』朝日出版社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト20% 課題20% 授業への参加姿勢(積極性、出席状況等)10% 定期試験50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。 		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業オリエンテーション アルファベットと発音・発音練習		
第2回	白雪姫(1) ・人称代名詞 ・動詞の現在人称変化(規則変化)		

第3回	白雪姫(2) ・定動詞の位置 ・seinの現在人称変化
第4回	ハーメルンの鼠捕り男(1) ・名詞の性 ・定冠詞と不定冠詞
第5回	ハーメルンの鼠捕り男(2) ・名詞の格変化 ・habenの現在人称変化
第6回	もじゃもじゃ頭のペーター(1) ・名詞の複数形 ・複数名詞の格変化
第7回	もじゃもじゃ頭のペーター(2) ・動詞の現在人称変化(不規則変化)
第8回	もじゃもじゃ頭のペーター(3) ・命令形
第9回	ティル・オイレンシュピーゲル(1) ・人称代名詞の3格と4格 ・疑問代名詞
第10回	ティル・オイレンシュピーゲル(2) ・前置詞の格支配 ・前置詞と定冠詞の融合形
第11回	ランツフートの結婚式(1) ・定冠詞類 ・不定冠詞類
第12回	ランツフートの結婚式(2) ・否定文: keinとnichtの使い分けの原則
第13回	ディンケルスプュールの子供祭り(1) ・従属接続詞と副文
第14回	ディンケルスプュールの子供祭り(2) ・分離動詞と非分離動詞
第15回	補足・文法事項のまとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590021008	科目番号 / Subject code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11319_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2P1・2P2) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 武史 / Takefumi Taguchi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2P1・2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tataguchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・初年次に学んだドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。 ・特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。 		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 ・基本的には教科書に沿って進めてゆすが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 ・授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。 		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> ・初回より教科書を用いて授業する。 ・小テストと中間試験を行う。小テストと中間試験は授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書等の指示された範囲を辞書を駆使して予習してくる。また付属CDを聞き、朗読の練習をする。 ・指示された宿題を次週までに済ませる。 		
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	飯田道子、江口直光『アプファールト ノイ スキットで学ぶドイツ語』2015年、三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習 (宿題、授業への積極的参加、小テスト、中間試験など) 50%、定期試験 (筆記試験、聞き取り試験) 50%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 ・独和辞書 (電子辞書も可) を準備し、毎回持参すること。 ・積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 ・授業中の携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。 ・許可を得ずに途中退出してはならない。 		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業オリエンテーション Lektion 1: Freut mich! (S.4-9) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解		

第2回	小テスト Lektion 2: Hast du morgen Abend Zeit? (S.10-13) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第3回	Lektion 2: Hast du morgen Abend Zeit? (S.13-15) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第4回	小テスト Lektion 3: Was ist das? Was hast du? (S.16-19) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第5回	Lektion 3: Was ist das? Was hast du? (S.20-23) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第6回	小テスト Lektion 4: Ich möchte eine Halskette. (S.24-26) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第7回	Lektion 4: Ich möchte eine Halskette. (S.27-29) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第8回	前半の振り返り 中間試験
第9回	Lektion 5: Hast du am Wochenende etwas vor? (S.30-31) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第10回	Lektion 5: Hast du am Wochenende etwas vor? (S.32-35) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第11回	Lektion 6: Was hast du in den Sommerferien gemacht? (S.36-37) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第12回	Lektion 6: Was hast du in den Sommerferien gemacht? (S.36-37) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第13回	Lektion 6: Was hast du in den Sommerferien gemacht? (S.38) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第14回	Lektion 6: Was hast du in den Sommerferien gemacht? (S.39-41) シャドーイング、ディクテーション、ロールプレイ、文法、問題演習、読解
第15回	後半の振り返り
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590023001	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2T1~2T5) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2T1-2T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu mrd.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツの文化・習慣・環境問題などをドイツ語会話を通して理解する。		
授業到達目標/Goal	1年で習得したドイツ語文法に基づき、日常の場面に応じた会話を自らのドイツ語で表現すること。		
授業方法 (学習指導法) /Method	二人一組で、会話練習を重ね、音に慣れて、自然に発話できるようにします。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『スツェーネン 2』 場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト (50%)、定期試験 (50%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	独和辞典持参。古本でもかまいません。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ドイツ語を通してヨーロッパへ目を向けよう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ドイツの映像を見る。前期の復習。		
第2回	服装の好みを話す。		
第3回	服を買う。		
第4回	ゴミの分別。		
第5回	エネルギーの節約。		
第6回	学校の環境プロジェクト。		
第7回	公共の場所で禁止・許可されていること。		
第8回	何歳で何が出来るか。18歳で飲酒。		
第9回	教育制度について。		
第10回	卒業資格と職業。		
第11回	職業相談所で。		
第12回	ドイツの祝日はほとんどがキリスト教に関係している。		

第13回	イースターについて。
第14回	クリスマスとアドベント。
第15回	ドイツと日本の年末年始。
第16回	総復習。

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590023002	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2M1 ~ 2M3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 哲雄 / Yamashita Tetuo		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2M(独1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamatetsu mrd.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業到達目標/Goal	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業内容/Class outline/Con	ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『スウェーデン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト (40%)、定期試験 (50%)、授業中の発音・和訳・積極性 (10%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回 パーティーには何を着ますか。		
第2回	第2回 この白いワンピースをどう思いますか		
第3回	第3回 このゴミはどこに捨てますか		
第4回	第4回 ドイツの学校の環境プロジェクト		
第5回	第5回 ここで犬を放してはいけません		
第6回	第6回 何歳になれば、何ができますか		
第7回	第7回 ドイツの義務教育は何年ですか		
第8回	第8回 パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません		
第9回	第9回 ドイツの学校		

第10回	第10回 復活祭には何をしますか
第11回	第11回 ドイツの祭りや祝日
第12回	第12回 カーニバル
第13回	第13回 ドイツと日本の年末年始
第14回	第14回 「アドヴェント」とはどういう意味ですか
第15回	第15回 ビデオでドイツを見る
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590023003	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2T6~2T10) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	仲井 幹也 / Nakai Mikiya		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student	2T6~2T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-nakai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館5階		
担当教員TEL/Tel	095-820-6399		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	初年次に学んだドイツ語の基本的知識を、会話、聴解、読解、作文等の総合練習を通して定着させ、実践的語学力に高める。 特に声を出しながらの反復練習で、ドイツ語らしさを体得することに重きを置く。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞を中心としたドイツ語の構造を、論理的に把握できるようになる。 ・ドイツ語での初歩的な会話ができるようになる。 ・語彙を増やすことで、簡単な文章の聞き取りができるようになる。 ・辞書の使い方に習熟し、正確な読解ができるようになる。 ・日独の文化的特性について比較しつつ理解を深める。 		
授業方法(学習指導法)/Method	既習事項を確認しつつ、段階を追って丁寧に学んでゆく。 基本的には教科書に沿って進めてゆくが、必要に応じて他の教材も用いて、幅広く学習する。 授業内外での質疑応答や意見を重視し、受講者の主体的学習を促す。		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> * 初回より教科書を用いて授業する。 * 指示された範囲を辞書を駆使してしっかり予習してくる。朗読の練習もすること。 * 定期的な小テストを行う。小テストは授業内容および宿題を踏まえた内容で行い、その結果は評価項目の「平素の学習」に反映される。 * 積極的な発言を期待する。思いついた疑問、意見は遠慮なく即座に提示するように。 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	実践的なドイツ語、ドイツ語らしさ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	清野智昭 『ドイツ語の時間 ビデオ教材 恋するベルリン Web改訂版 エピローグ付』 朝日出版社 2017年		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平素の学習(宿題、授業への積極的参加、小テストなど)50%、定期試験(筆記試験、聞き取り試験)50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回出席、平素の取り組みを重視する。積極的姿勢で授業に臨むこと。 携帯電話およびモバイルデバイスの類は使用厳禁。許可を得ずに途中退出してはならない。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	独和辞書(電子辞書も可)を準備し、毎回持参すること。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	Lektion 8: Beim Friseur (S.34-35) シャドーイング、ロールプレイ、文法		
第2回	Lektion 8: Beim Friseur (S.34-35) 文法		

第3回	Lektion 8: Beim Friseur (S.36-37) ディクテーション、作文
第4回	小テスト Lektion 9: In einem Biergarten (S.38-39) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第5回	Lektion 9: In einem Biergarten (S.38-39) 文法
第6回	Lektion 9: In einem Biergarten (S.40-41) ディクテーション、作文
第7回	中間テスト Lektion 10: In einer Boutique (S.42-43) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第8回	Lektion 10: In einer Boutique (S.42-43) 文法
第9回	Lektion 10: In einer Boutique (S.44-45) ディクテーション、作文
第10回	小テスト Lektion 11: Philipps Geburtstag (S.46-47) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第11回	Lektion 11: Philipps Geburtstag (S.46-47) 文法
第12回	Lektion 11: Philipps Geburtstag (S.48-49) ディクテーション、作文
第13回	小テスト Lektion 12: Vor der Abreise (S.50-51) シャドーイング、ロールプレイ、文法
第14回	Lektion 12: Vor der Abreise (S.50-51) 文法
第15回	Lektion 12: Vor der Abreise (S.52-53) ディクテーション、作文
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590023004	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2D1・2D2_2K1~2K3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student	2D1・2D2_2K1~2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	これまでに学んだ知識を定着させ、より発展的な内容の作文、読解、聞き取り、発話の力をつける。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> 既習の文法・語彙などを定着させる。 上記に加えて発展的な文法事項・語彙を学び、より豊かで自然な表現方法を身につける。 徹底した音読、聞き取り、会話練習を通じて正しい発音を学ぶ。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> 学習事項の定着をはかるため、小テストを行います(毎回の予定)。 発音練習のためにペアワークを適宜行います。 教科書の補足のためプリントを配布する場合がありますので、バインダー等を利用し、配布されたものはすべて毎回授業に持ってくるようにしてください。 		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に教科書に沿って進めていきますが、進度や理解の状況によって内容を変更する場合があります。 発音と聞き取りに関する中間試験(暗唱・音読、聞き取り試験など)に取り組んでもらう予定です。 学期末に定期試験を行います。授業の中で学んだ文法事項や表現、聞き取り能力を問うものになります。 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、わからない単語は調べておくこと。また、発音と音読の練習もしておいてください。</p> <p>(事後学習) 小テストは既習の授業内容を問うものになりますので、しっかりと復習を行ってください。</p>		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	飯田道子、江口直光『アプファールト ノイ スキットで学ぶドイツ語』三修社(2015)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト20% 授業への参加姿勢(積極性、出席状況等)10% 中間試験20% 定期試験50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	<ul style="list-style-type: none"> やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。 		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業オリエンテーション Lektion 7: Wo warst du denn gestern Abend? (1/3)		
第2回	Lektion 7: Wo warst du denn gestern Abend? (2/3)		

第3回	Lektion 7: Wo warst du denn gestern Abend? (3/3)
第4回	Lektion 8: Ich freue mich sehr, wenn du nach Japan kommst. (1/3)
第5回	Lektion 8: Ich freue mich sehr, wenn du nach Japan kommst. (2/3)
第6回	Lektion 8: Ich freue mich sehr, wenn du nach Japan kommst. (3/3)
第7回	前半の振り返り 中間試験
第8回	Lektion 9: Mein Fahrrad ist kaputt. (1/3)
第9回	Lektion 9: Mein Fahrrad ist kaputt. (2/3)
第10回	Lektion 9: Mein Fahrrad ist kaputt. (3/3)
第11回	Lektion 10: Wenn ich Zeit haette ... (1/4)
第12回	Lektion 10: Wenn ich Zeit haette ... (2/4)
第13回	Lektion 10: Wenn ich Zeit haette ... (3/4)
第14回	Lektion 10: Wenn ich Zeit haette ... (4/4)
第15回	後半の振り返り
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590023005	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2E1~2E6) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	竹田 桜 / Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	竹田 桜 / Sakura Takeda		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student	2E1~2E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka@gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	作文の演習を通じて既習事項を定着させ、より発展的なドイツ語の語彙や表現について学ぶ。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の文法・語彙などを定着させる。 ・上記に加えて発展的な文法事項・語彙を学び、より豊かで自然な表現方法を身につける。 ・音読・暗唱等を通じて正しい発音とドイツ語の語順や発想に慣れる。 		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に沿って、作文の練習問題に取り組みます。 ・解答・解説の際に文法や語彙についての復習や補足を行います。 ・教科書の補足のためプリントを配布する場合がありますので、バインダー等を利用し、配布されたものはすべて毎回授業に持ってくるようにしてください。 		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> ・文法や語彙の解説を行ったうえで、練習問題を行います。 ・毎回、授業の最初に小テストを行い、授業内容の定着をはかります。 ・その他、講師からの質問という形で既習の内容について確認します。 ・基本的に教科書に沿って進めていきますが、進度や理解の状況によって内容を変更する場合があります。 ・学期末に定期試験を行います。 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(事前学習) 授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語は調べておくこと。 (事後学習) 小テストは前回の授業内容を問うものになりますので、しっかりと復習を行ってください。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	大岩信太郎『Deutsche Satzuebungen fuer Anfaenger(はじめての独作文)』(朝日出版社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト20% 授業への参加姿勢(積極性、出席状況等)20% 定期試験60%		
受講要件(履修条件)/Requirements	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。(定期試験では辞書の持込を許可します) 		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	現在完了形・過去完了(未来形・未来完了)		
第2回	形容詞の格変化		
第3回	受動		

第4回	zu不定詞[句]
第5回	比較
第6回	非人称
第7回	話法の助動詞(1)
第8回	話法の助動詞(2)
第9回	関係代名詞
第10回	指示代名詞
第11回	再帰動詞
第12回	命令法・分詞
第13回	要求話法
第14回	非現実話法
第15回	間接話法
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590023006	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2G1~2G3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	2G1-2G3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2077 / 2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日昼休み及び授業前後(教室内のみ)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識及び理解を深めていきます。		
授業到達目標 / Goal	ドイツ語 までに学んだ初級文法の知識を活用し、辞書をたくさん引いて、ドイツ語のテキストを読みながら文法・語法・表現などを総合的に中級レベルに近づけることを目指します。		
授業方法(学習指導法) / Method	教科書に含まれるドイツ語テキストを、あらかじめ学生ができる限り自力で読み、内容を把握しておくことが前提です。その発表に対し教員が文法や語法について質問をしたり、説明を加えたりします。また、配布された練習問題に取り組むことで、基本的な文法力・語法力を身につけます。		
授業内容 / Class outline / Con	「授業計画詳細情報」を参照。		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	「授業方法(学習指導法)」を参照。さらに、初級文法の習得が不十分と思われる人には個別に自習用課題を提出してもらいます。		
キーワード / Key word	読解力錬成 基礎的文法力・語法力の錬成		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: U・シュミット M・D・タカヤマ ミツ石・和泉 ファウストとメフィストと学ぶ ドイツ文化 8章 プラス・エクストラ 三修社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表、課題の提出及び小テストの結果(50%)で評価します。		
受講要件(履修条件) / Requirements	再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第4章 「ウィーン」 Lesetext 2 Ein Leserbrief von Salieri (1750-1825) aus dem Himmel (1) 理由の表現 5種 + 1 / 絶対比較級と絶対最高級		
第2回	第4章 「ウィーン」 Lesetext 2 Ein Leserbrief von Salieri (1750-1825) aus dem Himmel (2) 独立分詞構文		

第3回	第5章 「世界遺産」 Lesetext 1 Welterbe allgemein (1) 分詞構文 / werden の基本用法
第4回	第5章 「世界遺産」 Lesetext 1 Welterbe allgemein (2) 受動態の基本 / 冠飾句
第5回	第5章 「世界遺産」 Lesetext 2 Weltkulturerbe (1) 世界遺産紹介 その1
第6回	第5章 「世界遺産」 Lesetext 2 Weltkulturerbe (2) 世界遺産紹介 その2
第7回	第6章 「発明品」 Lesetext 1 Erfindungen (1) (定)関係代名詞 その1
第8回	第6章 「発明品」 Lesetext 1 Erfindungen (2) (定)関係代名詞 その2
第9回	第6章 「発明品」 Lesetext 2 "Ein Bett f?r die F??e" (1) 不定詞 (= 不定形) 句
第10回	第6章 「発明品」 Lesetext 2 "Ein Bett f?r die F??e" (2) 特定の動詞と zu 不定詞句?
第11回	第7章 「旧東ドイツ」 Lesetext 1 Der Mauerfall (1) 接続法 式と接続法の用法のまとめ
第12回	第7章 「旧東ドイツ」 Lesetext 1 Der Mauerfall (2) als ob... / h?tte 不定形 + 話法の助動詞
第13回	第7章 「旧東ドイツ」 Lesetext 2 Ostalgie (1) wenn の7つの基本的用法
第14回	第7章 「旧東ドイツ」 Lesetext 2 Ostalgie (2) 丁寧な頼み方
第15回	第8章 「交響曲第9番」 Lesetext 1 Neue Musik, neue Malerei (1) wie の基本的用法 / man
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590023007	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2L1~2L3_2F1~2F3) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	目 正勝 / Satuka Masakatu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	目 正勝 / Satuka Masakatu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student	2L1?3, 2F1?3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mksakka xqb.biglobe.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	096-322-0277		
担当教員オフィスアワー/Office hours	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにして、応用段階へと進む。 ・多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ・ドイツの社会事情、歴史や文化への理解を深める。 		
授業到達目標/Goal	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものであれば、辞書を引きながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。		
授業方法(学習指導法)/Method	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の教科書を引き続いて使用。 ・教科書に従って、初級文法を確認し、応用しながら、平易なドイツ語文章を数多く読んでゆく。 ・関連する文法の練習問題に取り組む(適宜プリントで練習問題を補足)。 ・教室では毎回3~4人の人に和訳をしてもらう。前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。 ・朗読練習 ・折に触れてレポートを課す。 		
授業内容/Class outline/Con	<ul style="list-style-type: none"> ・文化の基層をなす民衆の祭りや伝説、また昔話などを読む。またそれらについての、対話文も。 ・後期は7課から12課まで読む。そして、接続法関連のテキストを追加する。2回の授業で1課を終える。 		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「ドイツ こころのふるさと - ビデオで学ぶメルヘンと伝説 - 」 荻野蔵平、Andrea Raab 著、朝日出版社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第7課、「ミュンヘンのオクトーパフェスト」(26ページ)、和訳と練習問題(話法の助動詞など)		
第2回	第7課の続き、「Dialog」(27ページ)、和訳と練習問題(未来の助動詞など)		
第3回	第8課、「フルトの竜退治祭り」(30ページ)、和訳と練習問題(形容詞の格変化など)		
第4回	第8課の続き、「Dialog」(31ページ)、和訳と練習問題(比較変化など)		
第5回	第9課、「ヘンゼルとグレーテル」(34ページ)、和訳と練習問題(再帰動詞など)		
第6回	第9課の続き、「Dialog」(35ページ)、和訳と練習問題(zu不定詞の用法など)		

第7回	第10課、「ニュルンベルクのクリスマス市」(38ページ)、和訳と練習問題(動詞の三基本形など)
第8回	第10課の続き、「Dialog」(39ページ)、和訳と練習問題(過去人称変化など)
第9回	第11課、「ほら吹き男爵」(42ページ)、和訳と練習問題(現在完了など)
第10回	第11課の続き、「Dialog」(43ページ)、和訳と練習問題(受動態など)
第11回	第12課、「ミュンヘンのファッシング」(46ページ)、和訳と練習問題(関係代名詞など)
第12回	第12課の続き、「Dialog」(47ページ)、和訳と練習問題(不定関係代名詞など)
第13回	補足テキスト(接続法関連)、和訳と練習問題、文法の補足(接続法など)
第14回	補足テキスト(接続法関連)、和訳と練習問題、文法の補足(接続法など)
第15回	補足テキスト(接続法関連)、和訳と練習問題、文法の補足(接続法など)
第16回	後期末試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20170590023008	科目番号 / Subject code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEGR 11419_032		
授業科目名 / Subject	ドイツ語 (2P1・2P2) / German		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 正之 / Koga Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 正之 / Koga Masayuki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Object Student	2P1・2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2077/2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日昼休み及び授業前後(教室のみ)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識及び理解を深めていきます。		
授業到達目標/Goal	ドイツ語 までに学んだ初級文法の知識を、日常生活の各場面に応じたパ-トナー練習、ドリル練習を通じて定着させ、使えるようになること、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。また、未習の、より発展的な文法事項についても適宜取り扱います。		
授業方法(学習指導法)/Method	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業内容/Class outline/Con	「授業計画詳細情報」を参照。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	次回の授業で用いる会話表現の意味を自発的に調べ、覚えておくこと。また、初級文法と語彙について行う小テストの試験範囲を復習しておくこと。		
キーワード/Key word	パートナー練習 参加型教材		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 飯田・江口 アプファールト <ノイ> スキットで学ぶドイツ語 三修社		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表、課題の提出及び小テストの結果(50%)で評価します。		
受講要件(履修条件)/Requirements	再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	このクラスでは通常メールや電話で学生と担当教員が個別に連絡を取り合うことはありません。用件は教室内で直接教員に伝えるか、緊急の場合はまず上記教養教育事務室まで連絡して下さい。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	前学期の復習 その1 第1課~第2課で学んだ単語や表現を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。		
第2回	前学期の復習 その2 第3課~第4課で学んだ単語や表現を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。		
第3回	前学期の復習 その3 第5課~第6課で学んだ単語や表現を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。		

第4回	第7課 テーマ：位置の表現 前置詞（2） 現在完了形や前置詞を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。
第5回	第7課 テーマ：～がある 前置詞（2） 前置詞や「～がある」という表現を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。
第6回	第7課 テーマ：過去のできごと（2） 遅刻 過去時制 過去時制を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。
第7回	第8課 テーマ：病気 再帰代名詞と再帰動詞 再帰代名詞と再帰動詞を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。
第8回	第8課 テーマ：計画 zu 不定詞句 zu 不定詞句を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。
第9回	第8課 テーマ：ふたつの文をひとつにする 従属の接続詞と副文 従属の接続詞と副文を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。
第10回	第9課 テーマ：修理 / 家事 受動文 受動文を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。
第11回	第9課 テーマ：開店時間・閉店時間 受動文 状態受動文を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。
第12回	第9課 テーマ：レシビ 形容詞の用法 / 比較の表現 形容詞を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。
第13回	第10課 テーマ：別れ / 非現実の仮定 接続法 2 式（現在の仮定） 接続法 2 式（現在の仮定）を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。
第14回	第10課 テーマ：別れ / 非現実の仮定 接続法 2 式（過去の仮定） 接続法 2 式（過去の仮定）を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。
第15回	第10課 テーマ：発展問題 後学期の復習 第7課～第10課で学んだ単語や表現を用いて文法的に正しい会話文を作り、それを二人一組で練習の上、実際に演じてもらいます。
第16回	定期試験